

2025年度予算反対の七つのポイント ＜市政に対して提案します＞

① 値上げはダメ！ 物価高騰から市民 の暮らしを守れ



市は国民健康保険、上下水道は独立採算が原則と考え、制度上の基準内繰り入れを除き、一般会計からの補填を抑制するために値上げが必要としています。

共産党は、国保は社会保障制度、上下水道は公共福祉の点から繰り出し基準があり、これまでとおり一般会計からの繰り入れを行えば、値上げは不要と主張しました。

② あまりにも少ない！ 公共交通の 予算増額を



高齢化がすすみ、市民の間には、バス路線の再開や、デマンドタクシーなどの全市的な運行の要求が渦巻いています。

共産党は地域の声を反映した交通政策を求め、先行自治体の施策などを参考に大胆な財政投入を要求しました。

③ 『保険あって介護なし』事業者支援が必要

今、介護保険制度の危機が叫ばれています。独自の支援を行っている自治体の事例も研究し、例えば「介護保険給付費準備基金」からの充当など事業者への支援を、市として検討することの见解を問いました。

＜市当局＞基本報酬引き下げなどに対応する市独自の事業所支援のあり方については、国や自治体の事例等を収集、研究を進めているところです。



④ 経営の危機を救え！酪農家への緊急支援を



牛乳、豚肉、卵などを生産する畜産業は市の農業出荷額で1位です。しかし畜産業に対する市の対応は、国や県の補助金の紹介だけで独自の事業はありません。なかでも酪農家は輸入飼料の高騰などにより、自らの努力だけでは経営を続けることが困難な状況です。共産党は、市の長期的な政策立案と事業予算化を求めました。

要望が実現しました！

いずれも議会で質問し要求してきた事業です。

- 帯状疱疹ワクチン接種費用への助成
- 補聴器購入費用の助成（住民税非課税世帯のみ）
- ヘルメット購入助成（18歳以下）
- 小中学校特別教室への空調設備設置



福田代表質問
(2月26日)中継動画



福田意見陳述
(3月14日)全文



駒形反対討論
(3月24日)全文



⑤ こどもはすぐ大きくなる もう待てない！ 小中学校給食無償化推進を

市長は「給食無償化は自治体の財力で地域差がでないよう国の制度で」と述べていますが、多くの市民にとって望まれる政策であれば、国や他市に先んじて実行すべきです。

＜市当局＞ 全国的に物価高騰が続き、給食費の値上げを行う自治体もある中で、これまでと同様に栄養バランス等を確保した学校給食を提供するため、物価高騰分を市が負担する事で給食費を値上げしない対応を図るところです。

⑥ 多忙の解消は 教職員の切実な願い

昨年12月議会で教員の未配置解消について質問しました。教員は多忙化に悩み精神疾患も増えています。増加するいじめや不登校などで学校現場は問題山積です。教員の労働条件の改善こそ子どもたちに豊かな教育を保障することにつながります。

今こそ教員を増やすことで多忙化解消を急がねばなりません。

教員の願いは十分な授業準備の時間確保です。市の教育条件改善への努力が一層求められています。



⑦ 公共事業の規模見直しで 地域を潤す循環経済へ



市の政策では、公共事業（給食センター、ごみ焼却施設、区画整理事業等）の規模大型化により、地元企業の参入が難しくなっています。

財政硬直化となる過大な設備投資でなく、地元企業の参入機会を広げるためにも、適正な事業規模に見直すべきと主張しました。

【多くの投資が予定される公共事業】

- 学校給食センター建設（建設済み）
- 五井駅東口土地区画整理事業（文化交流施設（市民会館）整備）
- 八幡宿西口複合施設の整備
- 新市庁舎建設
- 粗大ごみ処理施設の更新
- ゴミ焼却施設の更新
- 八幡椎津線の整備



稼働を始めた新しい
学校給食センター